

A64FX® Identification Method

日本語

Version 1.0
October 28, 2022

1. はじめに

本書は、システムのプロセッサが **A64FX** プロセッサであることを **OS** 上でコマンド実行して識別する方法を記載します。

`/proc/cpuinfo` を表示する方法と、**RHEL8.4** 以降では `lscpu` を実行する方法があります。

1.1 商標

- 会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。
- 本資料に掲載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示 (TM、(R)) を付記していません。

本書を無断で複製・転載しないようにお願いします。

2. 識別方法

2.1. `/proc/cpuinfo` を表示して識別する

RHEL の版数問わず、`/proc/cpuinfo` を表示し、表 1 の太字箇所を確認することで **FUJITSU A64FX** と識別できます。

表 1.`/proc/cpuinfo` を表示する方法

確認箇所	コマンド実行例
<ul style="list-style-type: none">• CPU implementer=0x46 (0x46 が FUJITSU である。)• CPU part=0x001	<pre>\$ cat /proc/cpuinfo egrep "^CPU implementer ^CPU part" head -2</pre> <p>CPU implementer : 0x46</p> <p>CPU part : 0x001</p> <p>\$</p>



2.2. lscpu を実行して識別する

OS が RHEL8.4 以降の場合、**lscpu** コマンドを実行し、表 2 の太字箇所を確認することで FUJITSU A64FX と識別できます。

OS が RHEL8.3 以前の場合、**lscpu** コマンドを実行しても、**Model name** が表示されないため FUJITSU A64FX と識別できません。

表 2.lscpu を実行する方法(RHEL8.4 以降の場合)

確認箇所	コマンド実行例
<ul style="list-style-type: none">• Vendor ID: FUJITSU• Model name: A64FX	<pre>\$ lscpu egrep "^Vendor ID: ^Model name:" Vendor ID: FUJITSU Model name: A64FX \$</pre>